

北加日米会

Hokka Nichibei Kai



December, 2015

観桑庵三十周年記念行事開催



三十周年を迎えた観桑庵

2015年11月29日(日)、感謝祭の週末である為に、出席数が危ぶまれましたが、当日は皆様のご協力のお陰でお茶席も大勢の方が出席され、カブキホテルでの祝賀会には100名の方々の参加を頂きました。

『日々新』をテーマとして行われた茶会は、御園棚(裏千家14代家元・淡々斎好み)でしつらい、椅子席でお迎えしました。広間の床には立花大亀和尚書の『大道透長安』の軸が荘られ、また、立礼席には『日々新』、小間には小林太玄和尚の『喫茶去』の短冊が荘られました。この短冊はこの30周年のお祝いに和尚から特別に頂戴したものであります。棚にはカルフォルニアにも通じる砂金袋の水指が置かれていました。いずれも先生方のお心入れの道具が並び、干菓子は京都のハッ橋を手折のいろ紙‘宝箱’に入れてもてなしました。これも Tea Society の役員の先生方の手折りのものでした。

お点前は小原瑠美さん、半東は高橋てるみさんで、表千家・裏千家の合同で行われました。



呈茶

新しい畳と張り替えられた障子で、観桑庵は30年前のお茶室に甦り、御参加の皆様には1時から4時までの呈茶でお楽しみ頂きました。

カブキホテルでの祝賀会では、JCCNCの中川淳子さんが司会をされ、在サンフランシスコ日本国総領事館の渡邊信裕首席領事からの祝辞を頂きました。「咸臨丸以来の歴史的意義のあるサンフランシスコの日本町に本格的なお茶室のあることは誇らしいことです。日本文化の粋を極める芸術であるお茶は、茶、花、絵画、書道、全てを網羅しているわが国の誇る文化であると自負しておりますが、文化の異なる国で、日本文化の粋ともいえる茶道を通じて、これからも益々日本文化を中心とした活動が広がっていくようになります。」という素晴らしいスピーチを頂戴いたしました。続いて、木村耕蔵北加日米会会長から、このたびの30年創立記念にいたる経緯とそれに

関わる Tea Society の活躍や活動が発表され、今後もしっかり文化を通じての架け橋の役目をしていきたいと思いますのご挨拶がありました。記念式典では、表千家家元 14代 千 宗左 様、裏千家家元 16代 千 宗室 様、中村昌生教授そして関野行雄・菊代ご夫妻への感謝状が渡されました。その後、北加日米会会長木村耕蔵氏、副会長西沢ジョン氏、在サンフランシスコ日本国総領事館首席領事 渡邊信裕氏、北加日本商工会議所会頭 佐藤研一氏、表千家 毛利栄子氏、裏千家 小原和子氏の6名での鏡開きがありました。引き続き『Odyssey of Kanso-An 30years』と題してPower Pointでの観桑庵の歴史や活動を古い写真を交えて、蔵重が紹介し、今後の観桑庵の使命や役割を説明し、今までの皆様の御協力に感謝し、今後の御支援、協力を賜りたいとのお願いで閉会となりました。

(蔵重 伸)



鏡開き



写真提供 Mark Shigenaga 氏

第 42 回 日本語弁論大会

北加日米会及び在サンフランシスコ日本国総領事館共催による第 42 回日本語弁論大会が 2015 年 11 月 1 日(日)、New People Cinema (1746 Post Street, San Francisco, CA 94115)で開催されました。ニュー・ピープルで開催する初めての弁論大会のため、新会場に不慣れなことで当日さまざまな不測の事態が浮上するのではないかと危惧していました。幸い、そうした懸念も取り越し苦労に終わり、おおむね円滑に実施できました。昨年までと同様、今年度も午前は中高校生の部の弁論大会、午後は大学生・成人の部という構成でした。日本語学習に対する意欲や日米の文化的相違、政治、さらには個人的内省など、多岐にわたる非常に興味深いトピックについて、午前午後合わせて 39 名の参加者が白熱したスピーチで競い合い、日頃の日本語学習の成果を披露しました。参加者数は昨年とは大きく異なり、全体で昨年の約 2 倍、大学成人の部だけをみれば昨年比で約 3 倍となり、過去の参加者数をもしのぐ活況でした。これで近年の参加者減少の傾向に一定の歯止めをかけることができたと自負しています。

総領事館担当の中高生の部(午前)では、西沢征義第一副会長が開会のご挨拶をされました。午前の部の審査委員長は在サンフランシスコ日本国総領事館、早川瑞穂領事、審査員はニュー・ピープルの土肥健路総務部長、裏千家サンフランシスコ出張所のクリスティ・バートレット所長、北加日本語教師会の高松信子会長、講談社アドバンス・メディアの木堂岬マーケティング・ディレクターにお務めいただきました。

また、北加日米会担当の大学・成人の部(午後)の開会のご挨拶は、在サンフランシスコ日本国総領事館、渡邊信裕首席領事にお務めいただきました。大学・成人の部の参加者数は、昨年の 6 名から 16 名と大幅に増加し、たいへん盛況となりました。午後の部の審査委員長は、渡邊首席、審査員は北加日本商工会議所の佐藤研一会頭、米国紀伊國屋書店の伊藤聡サンフランシスコ営業所長、北加ジャパン・ソサエティのデイビッド・マックマン会長にお務めいただきました。

中高生の部では 17 校から 23 名が参加しましたが、①「家庭で日本語を日常話さない(日本語を理解する人が家庭にいない)」参加者 15 名、②「家庭で日本語を日常話す(日本語を理解する人がいる、もしくは日本語を話す人が家庭にいる)」参加者 8 名の 2 グループに分け、それぞれのグループごとに審査を行いました。

①「家庭で日本語を日常話さない」生徒の部の優勝者はアンセア・シニアウさん(Mission San Jose High School)で、スピーチ・タイトルは「思い出」でした。第 2 位はジェーン・アンさん(Gunn High School)の「私はマスリート」、そして第 3 位はハレック・シェさん(Amador Valley High School)の「僕の 0 円の日本語勉強方法」でした。

②「家庭で日本語を日常話す」生徒の部の優勝者は五十嵐香奈さん(San Mateo Nippon Gakuen)で、スピーチ・タイトルは「スピーチの力」でした。第 2 位は林優樹さん(Sakura Gakuen)の「駅弁」、そして第 3 位はケネス・ロバーツさん(Little Angels Nihongo Class)の「僕と剣道」でした。

大学・成人の部の優勝者はローガン・スピアーさん(Stanford)で、スピーチ・タイトルは「心の扉を開けて」でした。第 2 位はダニエル・ペナーさん

(Stanford)の「言葉の海でみつけたもの」、そして第3位はジャズン・ヤップさん(Berkeley)の「戦争」でした。

午前の中高生の部、午後の大学・成人の部、ともに優勝から3位までの入賞者にはトロフィーを、中学・高校生の部の各カテゴリー優勝者には、スポンサーである講談社アドバンス・メディアから漫画『進撃の巨人』全巻セットが副賞として贈呈されました。参加者全員には(これも講談社コミックからご寄付いただいた)『進撃の巨人カプセル』をはじめ豪華な景品を授与されました。

また、大学・成人の部では、優勝者に(ユナイテッド航空より)サンフランシスコ・東京間の往復航空券が贈呈されました。第2位には、北加日米会からの\$400小切手、さらに(California Bank & Trustより)NBA観戦チケットと(米国日通旅行より)American Express商品券が贈呈されました。そして第3位には、北加日米会からの\$200小切手だけでなく、(三船ビストロより)\$60相当のお食事券と(米国日通旅行より)American Express商品券が贈呈されました。これらの豪華な副賞のアナウンスの際には会場から歓声が漏れるほどで、とても魅力的であったと自負しています。さらに、参加者全員に(ニューピープルより)『ドラえもんバッグ』が授与されました。

最後に、佐藤会頭に講評をお願いしましたが、審査委員の方々からは日本語のレベルの高さのみならず、個人の意見をしっかりと述べている点が特に印象的であったとの講評と共に、今後も日本語や日本文化に興味を持ち続けて欲しいとの激励の言葉が送られました。会場にはご家族や友人、教師等多くの方々が応援に駆けつけ、アットホームな雰囲気の中で弁論大会を実施することが出来ました。次回の弁論大会では、

日本語教育に携わっていらっしゃる先生、継承言語としての日本語に興味をお持ちの皆さんにより積極的に働きかけ、さらに大勢の日本語学習者にふるって参加していただけるよう、ますます魅力的な日本語弁論大会にしていきたいと考えています。数多くの企業、団体、個人の方々に協賛していただき、副賞などをご提供いただきましたこと、皆様のご協力、ご厚情に感謝いたします。

(南 雅彦)

<協賛>

ユナイテッド航空、北加日本商工会議所、国際交流基金、ニューピープル、講談社アドバンス・メディア、カリフォルニアバンクアンドトラスト、米国キッコーマン、米国紀伊国屋書店、坂本錦子(金門学園理事長)、美石宝石、米国日通旅行、岡本不動産、勉強堂、三船ビストロ、加州日本語教師会、北カリフォルニア外国語教会、北加日本語教師会、ウェブもん、Jウィークリー

入賞者のみなさん

中高生の部門(午前)

家庭で日本語を話さない生徒の部

第1位 アンセア・シアウ 「思い出」

第2位 ジェーン・アン 「私はマスリート」

第3位 デレック・シェ 「僕の0円の日本語勉強方法」

家庭で日本語を話す生徒の部

第1位 五十嵐 香奈 「スピーチの力」

第2位 林 優樹 「駅弁」

第3位 ロバーツ・ケネス 「僕と剣道」

大学・成人の部(午後)

第1位 ローガン・スピアー 「心の扉を開けて」

第2位 ダニエル・ペナー 「言葉の海でみつけたもの」

第3位 ジャズン・ヤップ 「戦争」

42nd Annual Japanese Speech Contest

On Sunday, November 1st, 2015, the Consulate General of Japan in San Francisco and the Japanese American Association of Northern California (JAANC: Hokka Nichibei Kai) held the 42nd Annual Japanese Speech Contest at the New People Cinema located in the heart of San Francisco's historic Japantown.

The primary objective of this contest is to encourage the learning and use of the Japanese language in the San Francisco Bay Area community, particularly among non-native speakers of Japanese. Consisting of (1) the Middle and High School Student Division and (2) the College Student and Adult Division, the speech contest represents a fun and challenging way for students at all levels to demonstrate their language and communications skills.

This year, the number of applications for both "Middle and High School Student" Division and "College Student and Adult" Division nearly doubled over last year. A total of 39 contestants -- 23 in the Middle and High School Student Division and 16 in the College Student and Adult Division -- participated in the speech contest and demonstrated their advanced Japanese speaking skills in various topics -- ranging from personal experiences and learning Japanese to the cultural differences between the United States and Japan -- before an audience of family members, teachers, friends, and the general public.

The Middle and High School Student Division contest was further divided into two groups, Category 1 for Japanese not spoken at home, and Category 2 for Japanese spoken at home. The Category 1 winner was Ms. Anthea Yuk Xiao ("Memories"), the first runner-up was Ms. Jane Ahn ("Being a Female Mathlete"), and the second runner-up was Mr. Derek Tse ("My Zero-Yen Japanese Studying"). The Category 2 winner was Ms. Kana Igarashi ("The Power of Speech"), the first runner-up was Ms. Yuuki Hayashi ("Station Lunch Box"), and the second runner-up was Mr. Kenneth Roberts ("My Kendo"). The first place winners for the Middle and High School Division speech contest received the complete set of popular manga series "Attack on Titans" from Kodansha Advanced Media, one of the contest sponsors.

The winner of the College Student and Adult Division was Mr. Logan Spear ("A Path to an Open Mind"), the first runner-up was Mr. Daniel Penner ("Treasure Diving in the Sea of Language"), and the second runner-up was Ms. Jia Zhen Yap ("War"). The first place winner for the College and Adult Division of this year's contest received a round trip economy class between San Francisco and Tokyo.

We appreciate the monetary and in-kind support given to the contest by the following organizations, firms, and individuals:

United Airlines, The Japan Foundation, The Japanese Chamber of Commerce of Northern California, New People Inc., Kodansha Advanced Media, California Bank &

Trust, Kikkoman Sales USA, Kinokuniya Bookstores of America, Ms. Kinko Sakamoto (Director General, Kinmongakuen), Miseki Jewelry, Nippon Express USA, T. Okamoto & Co, Benkyodo, Mifune Bistro, California Association of Japanese Language Teachers, Northern California Japanese Teachers' Association, Foreign Language Association of Northern California, Web Mon, J weekly

2015年日本文化の殿堂表彰

2015年日本文化の殿堂の受賞者は次の5名の方々です。

Toshio Saburomaru 氏(盆栽)、
Bando Misayasu 氏(日本舞踊)、
Kanow "Yofu" Matsueda 氏(尺八)、
Shihan Bernard Edwards(空手)、
San Jose Chidoriband(音楽)。

おめでとうございます。来年の新年会にて受賞式を行います。(森ロエディ)

BUNKA HALL OF FAME 2015

Five candidates have been selected into the Class of 2015 BUNKA HALL OF FAME.

The recipients are:

- 1) Toshio Saburomaru (Bonsai)
- 2) Bando Misayasu (Buyo)
- 3) Kanow "Yofu" Matsueda (Syakuhachi)
- 4) Shihan Bernard Edwards (Karate)
- 5) San Jose Chidoriband (Music).

高校生の日本文化 ワークショップ開催される

10月28日、日米会ビルディングにて、高校生のための日本文化ワークショップが行われ、ジョージワシントン高校で日本語を勉強し始めてまだ数ヶ月の学生たちが参加し、お茶、生け花、お習字、折り紙、などのワークショップを通して、日本文化を自分たちの手で経験する事ができました。午前中は、ジャパントウン内をスキヤベンジャーハントし、日系アメリカ人やジャパントウンの歴史にも触れ、普段とは違うジャパントウンを経験し、午後はお茶や生け花などはじめての経験した者も多く、各ワークショップで日本文化の素晴らしさを満喫しました。(森川知計)

On, Wednesday, October 28, approximately 50 of George Washington High School students in the 1st year Japanese program participated in a field trip to Japantown. The goals of this field were to become familiar with Japanese cultures, the history of Japanese Americans in San Francisco and that of Japantown. Students were encouraged to feel the experience of the Japanese language by first had communication with Japanese-speaking people in Japantown. The fieldtrip began in the morning with a scavenger hunt activity that had students searching for Japanese culture displayed around Japantown by asking questions, in Japanese, to people within the community.

In the afternoon, students enjoyed four different culture workshops, which were held

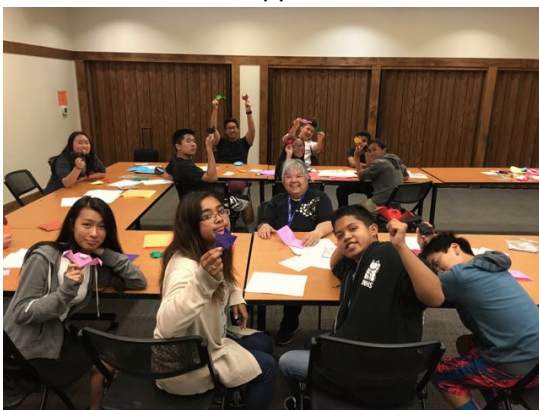
in Nichibei Kai and Ikenobo Ikebana Society. They enriched their experiences of the Japanese culture by participating in a tea ceremony, working and practicing origami, writing calligraphy and creating Ikebana. For most students these experiences were their first and for many the experience was distinctively different, learning about the unique perspectives of appreciation for seasons, opportunities, etc. The aroma and taste of thick green tea in a bowl was the first occasion for many. Making animals, flowers and more through origami was a filled with challenges and laughter and many students were amazed by their attempts of different shapes done with one piece of paper. After learning concepts of "Ikebana," students challenged themselves to create a group ikebana for a contest. Calligraphy was found to be the most challenging, having to stay focused while writing a word on rice paper. Students were nervous but the feedback of their experiences was very positive. So many interactive activities were fun for all and sharing in this experience together was great for them all. Thank you, Nichibei Kai & the Ikenobo Ikebana Society for their continued support.



生け花



茶道



折り紙



お習字

・・・会員ニュース・・・
Member's News

関野菊代先生、内閣総理大臣から
百歳の長寿達成のお祝いをいただく



笑顔の関野先生と山田総領事

10月14日、在サンフランシスコ日本国総領事館の山田淳総領事と作田誠領事が、関野菊代先生を自宅に訪問し、安倍晋三内閣総理大臣からの百歳の長寿達成のお祝いの言葉と記念品を手渡されました。関野先生は、「特に何をしたわけでもないのに、このような立派なお祝をいただき、もったいないです。今日は、わざわざ自宅まで届けていただき、ありがとうございました。」と、語っていました。また、記念品の寿の字が書かれた銀杯を手にして、「もう、これでお酒を飲むことはできなくて残念ですが、大切にします。」と、語っていました。家族が集まって、この日をお祝いしました。

11月30日には、お元気に百一歳のお誕生日を迎え、家族とお祝いしました。

関野菊代先生は、長年、北加日米会の理事として活躍されました。また、日米会のお茶室の建築に尽力されたお1人で、お茶室の紹介とお茶を広めることにも、長年尽力されました。

(宇井元美)

Mrs. Kikuyo Sekino Receives
Congratulatory Message from Prime
Minster Abe for Reaching 100 Years

On October 14th Consul General Jun Yamada and Consul Makoto Sakuta brought the congratulatory message and gift from Prime Minister Abe to Mrs. Kikuyo Sekino's home to mark her reaching the age of 100.

Mrs. Sekino said that she had not done anything special but she wanted to thank the Prime Minister for the message and nice present. Also she thanked the Consul General for taking the time to bring these all the way to her house.

She opened the gift, a silver sake cup with "kotobuki", congratulations, written in kanji on it. She said that she cannot drink sake anymore, but she will treasure it in memory of this occasion.

Many of her family members were present to share the occasion with her.

On November 30th she celebrated her 101st birthday with her family.

Mrs. Sekino, who was a member of the Board of Directors of Hokka Nichibei Kai for many years, was one of the key persons responsible for the building of the teahouse and its use to spread Japanese tea culture.

.....お知らせ.....

Upcoming Events

北加日米会年次総会

北加日米会の年次総会を下記の日程で開催致します。

会員の皆様、ぜひご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

日時: 12月16日(水) 午後6時30分 —

場所: 北加日米会 会議室

議題: (1)前年度総会会議議事録承認

(2)会計報告承認

(3)2015年行事報告

(4)2016年行事計画

なお、出席出来ない方は、既に発送されている案内状についている委任状を、12月10日(木)必着で北加日米会事務局に郵送してください。

ティーソサイエティー師走茶会

下記のとおり師走のお茶会を北加日米会ティーソサイエティーの主催で催しますので、皆様御友人をお誘い合わせの上ご参加くださいませ。日本古来の伝統を持つ茶の湯を味わいながら、師走のひと時をお過ごし下さいますよう、ご案内致します。

記

日時: 12月20日(日)

一席: 12時 二席: 1時 三席: 2時

場所: 北加日米会館

お茶席: 観桑庵(3階) お蕎麦席: 2階

担当: お茶席・裏千家 お蕎麦席・表千家

お席料: 一人 \$15

** 予約も承ります。北加日米会へお申し込み下さい。

JAANC Annual Meeting Notice

The JAANC Annual General Meeting will be held following:

Date: December 16 Wednesday from 6:30 PM

Venue: Hokka Nichibei Kai

1759 Sutter Street, San Francisco,
CA 94115-3217

Agenda: Approval of Minutes of meeting 2014

Treasurer's Report of 2015

2015 Annual Report

2016 Planning report

If you are unable to attend, please send your power of attorney to Hokka Nichibei Kai office no later than Dec. 10.

End of Year Tea Ceremony

Enjoy end of year tea ceremony. Traditional end-of-year buckwheat noodle will be served.

Date and Time: Dec. 20th (Sun)

at 12 noon, 1 pm, and 2 pm (Three sittings)

Place: Hokka Nichibei Kai building 3rd floor
"Kansoan" Tea Room

Fee: \$15 per person

Please call Hokka Nichibei Kai office for reservations.

北加日米会新年会

2016年の北加日米会新年会を下記の日程で開催いたします。当日は文化の殿堂表彰も行います。会員の皆様、ふるってご参加下さい。

日時：2016年1月23日（土曜日）

12時開宴

場所：ホテルかぶき

会費：80ドル

Hokka Nichibei Kai 2015 New Year Party

Date and Time: January 23rd
Saturday, 2016
From 12 noon

Place: Hotel Kabuki

Fee: \$80

***** 新規会員 *****
New Members

次の方が北加日米会の会員になりました。

The following persons joined Hokka Nichibei Kai since September.

天野由紀子 (Yukiko Amano)

北加日米会会報は、年4回(3月1日、6月1日、9月1日、12月1日)発行の予定です。お知らせやグループの活動報告等の記事も募集しております。どうぞ下記までお寄せ下さい。

北加日米会 Hokka Nichibei Kai
1759 Sutter Street, San Francisco, CA94115
Tel: (415) 921-1782 Fax: (415) 931-1826
E-mail: hokka.nichibeikai@yahoo.com
www.hokkanichibeikai.org